

令和2年度 施設関係者評価のまとめ

- 1 園で大事にしていること
 - ・こどもの主体性を大事に育てていく

- 2 育てていくこどもの力
 - (1) 聞く力(学習能力とコミュニケーション能力)
 - (2) 良い人間関係を作る力
 - (3) 生活のルールを通して、社会のルール理解し、守る力
 - (4) 集中して取り組む力
 - (5) 豊かな感性(五感を通して)

- 3 評価項目 5:十分達成されている 4:達成されている 3:達成されている
 2:成果が十分でない 1: 不十分である

		取り組み内容	評価 (1)	評価 (2)	評価 (3)
1	設置者の 理念	上記の 1.2 を踏まえた園の運営がなされているか	5	4	5
2	教育課程	年間の指導計画や週案の作成はなされているか	5	5	5
		職員間の共通理解がなされているか	5	5	5
	研修 (資質向上 の取り組み)	園外研修に参加し保育の質の向上に努めているか	5	5	5
		定期的に園内研修を行い、内容を職員全体で共有しているか	5	5	5
4	環境整備	施設の安全・維持管理のために整備がなされているか	5	4	4
		遊具・用具・図書の整備がなされているか	5	5	5
5	特別支援	特別支援保育・教育の理解を深めているか	4	5	4

		該当児に個別の支援がなされているか	5	5	4
		家庭との連携は十分になされているか	5	5	5
6	子育て支援事業	地域の子育て支援の相談は十分に実施されているか	4	4	4

4 コメント

評価(1) 園を運営するにあたっての安全管理が行き届いている。育てたい子どもの力と、行われている教育・保育に整合性がある。また、その力を遊びを通して獲得させようとしている園のねらいを感じ取ることができた。但し、教室内で遊びこんでいる場面では、子どもの声の音量が大きく感じる時があった。

評価(2) 遊びの中で、就学に必要な力を育てているように思われる。特筆すべきは、集中して遊ぶ力であった。机上での「お勉強」よりも、園が目標に掲げている主体性は遊びの中で育つものであることを再認識できた。今年度はコロナ禍のため園外研修に出かけている数は少ないが、昨年までの研修の数には驚きを隠せない。専門的スキルを獲得していく土壌は十分にあるように感じた。

評価(3) 遊んでいても、見学の大人がいることに気付いたこどもは、ちゃんと挨拶ができていた。園庭でも教室でも、子どもたちがのびのび遊んでいて安心した。地域の宝であるこども達が大切に育てられていることがわかった。

日時 令和3年2月12日（金）10時より

参加者 評価委員3名（地域民生委員・七条幼稚園 園長・主任教諭）